

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立川口高等学校)

目指す学校像 生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校

- 重点目標
- 1 組織的な学力向上策を整備し、高い進路目標にチャレンジする生徒を積極的に支援する。
 - 2 部活動・学校行事を通して、高い志を持って挑戦する強い心と自ら考え主体的に行動する習慣を養う。
 - 3 地域に根ざし、信頼される学校づくりを一層進める。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価				年度評価(月日現在)			
年 度 目 標	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	<p>【現状】 落ち着いた雰囲気の中で授業が行われている。一般入試を受験する生徒は増加傾向にある一方、まだ安易に推薦入試やAO入試等を選択する生徒も多く、高校生活最後まで自らの可能性を追求していく学習の取り組みはまだ不十分である。</p> <p>【課題】 高い目標を設定し、自らの実力を客観的に把握しつつ、自らの可能性を追求した先の目標実現に向けて継続的に努力させるため、積極的に学力向上に取り組みさせる工夫が必要である。</p>	<p>学習習慣の定着</p> <p>生徒の意欲と学力を向上させる授業の実践</p> <p>一般入試に対応した進路指導体制の整備</p>	<p>①英語・数学・国語を中心に、学年毎・教科毎に週末課題と確認テストを実施する。</p> <p>②朝自習をはじめとする「すきま時間」を活用した学習スタイルを例示し、自習用課題コーナーを設置するなど授業以外の学習機会を増やす。</p> <p>③授業以外の学習機会を増やしたい生徒に対してweb学習サービス等の活用を働きかける。</p> <p>①授業公開週間中心に、教員相互に授業参観を行う。</p> <p>②教科毎に、「学力向上プランシート」を作成し、これに基づき授業改善に向けた研修会を行う。</p> <p>③若手教員の授業力向上を図るため、教育センターや予備校主催等の校外研修会等に参加させる。</p> <p>①1、2年生の学力の状況把握のため「スタディサポート」、「進研模試」や河合塾の模試を実施する。また、模試に向けた事前事後指導を行う。</p> <p>②3年生を中心に、学期内や長期休業中に一般入試に向けた進学補講を実施する。</p> <p>③「川高コアチーム」の取り組みを推進し、学力上位層の意識向上を図る。</p>	<p>・生徒アンケート「集中して取り組んだ」70%以上</p> <p>・月2回のペースで実施できたか</p> <p>・生徒アンケート「集中して取り組んだ」70%以上</p> <p>・アンケートによる授業以外の学習時間の増減</p> <p>・延べ100名の教員が授業参観を行ったか</p> <p>・教科会で研修会を2回以上行ったか。</p> <p>・延べ20名の教員が参加したか</p> <p>・年間3回の全員模試受験ができたか。</p> <p>・学期内に10講座以上の講習会が開講できたか。</p> <p>・延べ100名以上の生徒が参加したか。</p> <p>・夏季休業中に30講座以上開講できたか。</p> <p>・延べ100名以上の生徒が参加したか。</p>			
2	<p>【現状】 基本的生活習慣が確立した、真面目で素直な生徒が多い。学習と部活動の両立に努めている。</p> <p>【課題】 基本的に良い生徒であるが、規範意識や自己肯定感が十分ではないため、何事に対してもリスクを冒してまで新たな挑戦をするほどの積極性を発揮することができない生徒が散見される。</p>	<p>組織的な生徒指導体制の下で、行事や部活動等の課外活動の一層の活性化により、生徒の人間力を高める。</p>	<p>①規範意識の醸成に全校体制で取り組むため、継続的な生活指導を実施する。</p> <p>②文武両道を重んじ、部活動実績を向上させるため、生徒に部活動への取り組み姿勢の改善とスキルアップを求める。</p> <p>③部活動や学校行事を通じて人と交わる力やリーダーシップを育て、生徒達の自尊心を醸成させるため、学校行事の中で、生徒が主体的に活動する内容を増やす。</p> <p>④部活動の試合やコンクール等の情報を広く共有し、互いに応援しあうことで「チーム川高」としての一体感を高めるとともに人間力の向上を図る。</p>	<p>・昨年度と比較して遅刻者数及び指導対象者数が減少したか。</p> <p>・部活動加入率が上昇したか。</p> <p>・生徒アンケートの部活動満足度が80%以上であったか。</p> <p>・生徒アンケートにおいて学校行事に積極的に参加できた生徒の割合が増えたか。</p> <p>・自分の所属以外の部活動等の大会への応援や発表会へ参加した生徒数</p>			
3	<p>【現状】 地域や保護者から概ね信頼され、PTA活動や諸行事も円滑に行われている。生徒募集においても入学志願者数は安定している。</p> <p>【課題】 本校の生徒募集に関する情報をより一層積極的に発信する必要がある。</p>	<p>情報発信の多元化を行い、川高ファンを増やす。</p>	<p>①進学フェアや学校説明会、中学校・予備校・塾等の説明会を工夫して行う。</p> <p>②各学年での行事や部活動の予定・結果などを定期的に更新する。</p> <p>③メールシステムを活用し、文書の配布やHPの更新情報等を通知する。</p>	<p>・学校説明会等の来校者数が増加したか。</p> <p>・HPの更新数、アクセス数は増加したか。</p> <p>・メールシステムでの配信数は増加したか。</p>			

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日 平 成 年 月 日	
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	